



2009～2010年度

# 中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 江渕一秀 幹事 小野嘉之 クラブ広報委員長 岩渕正芳

例会日時：毎週木曜日 12:30～13:30

例会場：グランプラザ中津ホテル TEL：0979-24-7111

事務局：〒871-0025

大分県 中津市 殿町1383-1 中津商工会議所2F

TEL：0979-22-9716 FAX：0979-22-9722

メールアドレス：office@n-heisei.org

ホームページ：<http://www.n-heisei.org>

## 第974回例会 平成22年 4月8日(木)

本日の例会プログラム 会員卓話「地区協議会報告」

青木副会長・土居副幹事

◎次回例会プログラム 会員卓話「慢性疲労症候群について」

小路 東会員

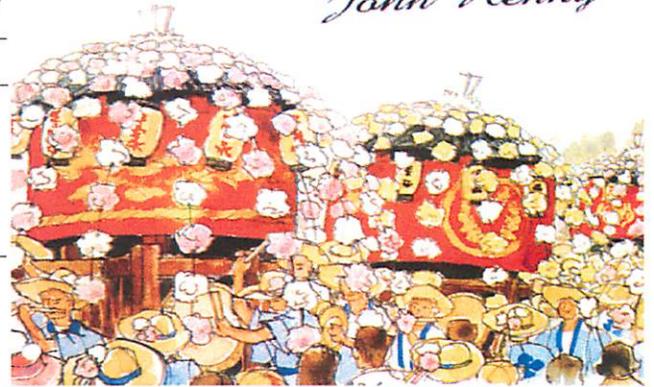


2009～2010年度

国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は  
あなたの手の中に  
国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

John Kenny



### 前回（第973回例会）の記録

平成22年 4月1日(木) 12:30～

#### ■ゲスト

麻生獣医科医院

院長 麻生 哲氏

#### ■ビジター

宇佐2001RC

麻生 哲君

#### ■出席報告

会員数 24名

免除者数 0名

対象者数 24名

本日出席者 17名

欠席者数 7名

出席率 70.83%

#### ■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 6名

メイクアップ 2名

欠席者 4名

修正出席率 76.00% → **84.000%**

#### ●メイクアップ

辛嶋(地区協議会)

土居(地区協議会)

#### ●欠席者

松本・出納・渡邊・長野(修)

◎ロータリーソング 君が代、奉仕の理想

◎会長の時間 会長 江渕一秀



先週の花見例会は、親睦委員会の方々、お疲れ様でした。途中雨が降って来ましたので、部屋の中でして良かったと思います。桜も見られる期間が、後わずかだと思います。

四月に入りまして、入社式や、入学式を迎えます。何となく気が引き締まり、新たな希望が出てきます。平成の大合併も終わりました。新しい市町村も、もう増えないでしょう。平成ロータリーは、会員を増やしても結構です。増強には、務めていただきたいと思います。

います。八坂君の代わりに、新しい会員の推薦が上がっております。次年度の地区協議会も済みました。去るものもあれば、来るものあります。

次期会長・幹事は、これから準備があり、何かと忙しくなると思います。頑張ってください。ちと、寂しい気もしますが...

#### ◎幹事報告

#### ●例会変更

中津RC 4/28(水) → 休会

大分RC 大分東RC 大分南RC

くにさきRC 湯布院RC

#### ●週報受理

宇佐ロータリークラブ

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」 "ROTARY'S CHANGE IS IN YOUR HAND"



2009～2010年度

# 中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



ロータリーの未来は  
あなたの手に

## ●報告事項

- ・ロータリーの友4月号届く
- ・交通遺児ご支援のお願いについて
- ・木下ガバナーエレクト事務所より「地区協議会での写真の受け取り・落とし物のお尋ね」
- ・地区協議会参加の御礼
- ・ガバナー月信4月号届く

## ●理事会報告

- ・本日理事会を開催します。

## ◎委員会報告

- クラブ管理運営委員会 親睦担当 大和委員長
- ・花見例会に多数の参加ありがとうございました

## ◎ニコニコボックス

クラブ広報委員会 会報担当

### ○辛嶋会員

別府で地区協議会があり、地区管理運営委員長として、何とか終わることができました。

麻生哲さんが、宇佐から話に来てくださいました

### ○若松会員

地区協議会にて辛嶋管理運営委員長に1時間みっちり勉強させていただきました。お陰様で来期1年間持ちそうです。

### ○青木会員

地区協議会に参加してきました。

### ○永松会員

麻生さん卓話ありがとうございます。地区協議会へ出席をし勉強をしてきました。

### ○岩淵会員

長男が大学を卒業して無事就職しました。我社にも20歳の新入社員が入社しました。

## ◎ゲスト卓話

「農場から食卓まで」

麻生獣医科医院 院長 麻生 哲氏



消費者の皆様が望む食の「安全、安心」とはどのようなことなのだろうか？ 畜産物の生産過程はご存知なのだろうか？。私はいつも疑問に感じています。

今日はブロイラーに限定して「農場から食卓」まで一連の過程をスライドで紹介します。

1. 原種鶏農場より種鶏〔♀10対♂1〕が種鶏場で育成され平均25週令以降の卵を孵化場に運び「21日」でヒヨコが誕生します。〔平均体重40g〕

2. 人里はなれた生産農場で〔開放鶏舎、無窓鶏舎〕平均52～55日間育成して処理場に出荷されます。〔平均体重3kg〕

3. 飼育の原料は殆ど輸入品ですので港に近い場所に工場があります。

オートメーション化され、薬品無添加飼料、薬品添加飼料とラインは区別され、牛用、豚、鶏用飼料が混合しない様厳重に管理され、発送されます。内容成分等は飼料安全法に測って〔独〕肥飼料検査所がランダムにチェックし違反はすぐ公表され製品は回収されます。

4. その間、病気発症予防のためのワクチンや病気治療のための各種薬品が使用されることがありますが、その場合要指医薬品等は獣医療法や薬事法により使用は厳しく制限されています行政当局の監査指導もあります。ここまでは農林水産省の管轄です。

成鳥はケージに入れられトラックで処理場に運ばれます。敷地内に1歩入ると今度は厚生労働省の管轄となります。

5. ついで食鳥処理法、食品衛生法の各種法律の下で処理作業が行われます。

6. 先ず検査官〔獣医師〕による、生体検査に始まり、と殺、放血、湯漬。脱羽と続き、脱羽後検査合格のあと内臓が摘出され、食用に適するか否かを1羽1羽丁寧に調べます。異常は全部廃棄、又一部分廃棄されます。

7. 合格しますと水洗、冷却され、カットラインに運ばれ製品化され、保冷車でスーパー、小売店から消費者の手に渡ります。小売店の段階で行政当局〔食品衛生機動班〕の抜き取りで細菌検査、薬品残留検査が実施され、違反品は公表、回収されます。

ブロイラーは人に食べられる為だけの短い約2ヶ月弱の命です。

外国産か？国内産？・食べるか？食べないか？判断基準の1つになれば幸甚です。

〔コストかけずして安全なし

開示なくして安心なし〕

「ロータリーの未来はあなたの手に」

“ROTARY'S CHANGE IS IN YOUR HAND”